

ハイリスク新生児への母乳栄養推進

松戸市立病院

竹内 豊

研究目的

NICUへ収容されているハイリスク新生児は母と分離された状態にあって母乳栄養を続けることに大なる困難がある。病的状態であるからこそ母乳栄養が望ましいこれらの児に対して、如何に多くの母乳を投与できるか、また母乳が投与されない症例ではその原因が何なのかを探る。

対象

昭和58年5月から59年12月までの18ヶ月間に松戸市立病院新生児科に入院したハイリスク児は866名であるが、その内2週以内死亡38名と5日間以内の短期間入院した99名を除いた729名について調査した。

母乳栄養の推進のための方策

父母に対して母乳栄養の必要性を説明し、関連産科医にもこの旨を連絡して協力を依頼した。母乳運搬用のクーラーボックスは施設で準備して貸与した。さらに運搬用哺乳ビンも施設で消毒をして貸与した。

結果

1. 母乳の投与状況(表1)

母乳の投与状況は表1に示すとおりである。ここで母乳投与例としたものは生後2ヶ月間数回の人工乳栄養は投与されたとしても、そのほとんどの栄養が母乳でなされたものである。全体で母乳は86%の児に投与されたが、なかでも1000g未満の超未熟児では100%の投与率であった。一番成績の悪かったグループは成熟児群であった。

2. 母乳栄養が行えなかった症例について

① 児の状態について

表2に母乳栄養を受けられなかったベビーの状態を表してある。出生体重群別にみると成熟児群に外表奇形、手術を要した例、仮死後症、髄膜炎

など重篤な疾病をもった症例が多くみられている。未熟児では40例が未熟性以外に特別の疾患がなかったのに母乳が投与されていなかった。

② 母の疾病について

表3に母の疾病のために母乳を投与できなかった症例を表してある。母の服薬は2人が向神経薬を、1人が甲状腺製剤を内服していたために母乳禁止となった。

③ 母に特別の疾病のなかった例について

表4は特別疾病のなかった母が何故母乳を児に投与できなかったかについて推察する因子を表したものである。母乳が出なかったので運搬できなかったと答えた母が多かったが、母乳の出なかった理由は、入院した児が心配で、或は長期間飢餓であったりして、次第に乳汁分泌が衰えてしまったと答えた母も多かった。

極端に遠方で、毎日母乳を運ぶのが困難なケースも多く、又、核家族化して、若い姉妹の面倒をみてくれる人がいないために、病院へ通えない母も多くあった。消毒哺乳びんを貸与したために運搬用クーラーにも家庭の冷凍庫にも1日分8本しか収まらず、数日毎の運搬を妨げてしまったのも要因の一つと考えられた。

まとめ

母と離れて入院している病的新生児、未熟児にとって、母乳栄養は、栄養学的にも、感染に対する抵抗性からも、そして何よりも母子間の絆をつなぐ意味からも、最も望まれる栄養法であることは疑いのないところである。今回の調査では重篤な疾患をもった児に比較的母乳投与がなされていなかったケースが多く、また家庭環境から母乳が届けられなかったケースも多くあったので、今後は、運搬の方法の改善と、重篤な児の両親に対するより密接な指導を行ってゆきたい。

表1
母乳の投与状況

出生体重 (g)	～ 999	1000～1499	1500～2499	2500～	合計
対象患者数	26	86	318	299	729
母乳投与例	26	75	271	254	626
母乳非投与例	0	11	47	45	103
母乳投与率%	100	87.2	85.2	84.9	85.9

表2
母乳栄養を受けられなかったベビーの病的状態

出生体重 (g)	1000～1499 (11)	1500～2499 (47)	2500～ (45)
呼吸障害, 人工換気	6	3	4
重篤な外表奇形	2	3	7
小児外科手術		3	9
重篤な心疾患			3
仮死後脳症, 痙攣重積		3	5
敗血症, 髄膜炎			6
黄疸, 交換輸血			5
特発性嘔吐症			5
IDM			1
腎性尿崩症			1
とくに病的状態はなし	3	35	

表3

母乳栄養を行えなかった母親側の諸因子

1 母の疾病について

母子共に腎性尿崩症	1
重症妊娠中毒症、脳出血	1
DIC	6
母の服薬	3
産褥の感染、入院治療	3
合計	14

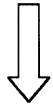
(CS 18人)

表4

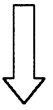
母乳栄養を行えなかった母親側の諸因子

2 母に特別の疾病のなかった76人について

未婚	5
上に幼い兄弟がいる	53
住居が遠方である	30
入院したベビーが	
長期人工換気	9
重篤な外表奇形	10
重篤な心疾患	9
小児外科手術	8
仮死後脳症	6
敗血症、髄膜炎	6
	42



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



研究目的

NICU へ収容されているハイリスク新生児は母と分離された状態にあって母乳栄養を続けることに大いなる困難がある。病的状態であるからこそ母乳栄養が望ましいこれらの児に対して、如何に多くの母乳を投与できるか、また母乳が投与されない症例ではその原因が何なのかを探る。